

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	血液安全・安定供給等推進事業			担当部局庁	医薬・生活衛生局		作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	血液対策課		課長 一瀬 篤		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	・血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(平成25年7月23日厚生労働省告示第247号) ・献血の推進に関する計画(平成27年3月27日厚生労働省告示第184号)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	血液製剤の安全性向上、献血によって得られた血液による国内自給の確保、血液製剤の安定供給の確保及び適正使用の推進を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・感染症の発生等を踏まえた血液製剤の安全体制の強化 ・献血に対する意識の向上・献血者が安心して献血できる環境の整備 ・血漿分画製剤の国内自給体制の整備 ・医療機関における血液製剤の使用実態の把握と適正使用に向けた体制整備								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	135	127	138	121	117		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	135	127	138	121	117		
	執行額	89	86	87					
執行率(%)	66%	68%	63%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	毎年度、血液不足が生じないよう、需給予測に沿って必要な血液を確保する。	毎年度、献血により確保された血液	成果実績	万L	200	195	193	-	-
			目標値	万L	205	205	199	-	201
			達成度	%	97.6	95.1	97	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	毎年7月に実施される「愛の血液助け合い運動」における啓発宣伝用ポスターの配布	活動実績	枚	39,523	38,533	38,943	-		
		当初見込み	枚	39,523	38,533	38,943	39,533		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X: 執行額全体(円)/Y: 確保された血液量(万L)	単位当たりコスト	円	446,900	438,806	448,771	599,776		
		計算式	X/Y		89,380,049/200	85,567,236/195	86,612,778/193	120555000/201	
平成28・29年度予算内 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	1	1	平成27年度の執行状況を踏まえ、主に献血推進普及に関する事業の医薬品審査等業務庁費を削減したことによるものである。					
	職員旅費	6	6						
	委員等旅費	2	2						
	医薬品審査等業務庁費	65	61						
	医薬品等試験調査委託費	47	47						
	計	121	117						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	安全な血液製剤を安定的に供給すること(1-7)									
	施策	健康な献血者の確保を図り、血液製剤の国内自給、使用適正化を推進し、安全性の向上を図ること(1-7-1)									
	測定指標	定量的指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
		安定供給に必要な血液量の確保状況			実績値	万L	200	195	193	-	-
					目標値	万L	205	205	199	-	201
		定量的指標				単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
		安定供給に必要な原料血漿の量の確保状況			実績値	万L	94.7	92.4	90.9	-	-
					目標値	万L	92	92	91	-	95
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	感染症の発生等を踏まえた血液製剤の安全体制の強化、献血に対する意識の向上や献血者が安心して献血できる環境の整備、血漿分画製剤の国内自給体制の整備、医療機関における血液製剤の使用実態の把握と適正使用に向けた体制整備を行う。毎年度、献血により確保すべき血液の目標量の90%以上を確保(平成27年度目標量 199万リットル)										
アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
					達成度	%	-	-	-	-	-
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目					評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	血液製剤は医療にとって必要不可欠なものであり、その血液製剤の安全性の向上、安定供給、適正使用の推進を図るための事業を実施することは、血液法に規定された国の責務である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	血液法の規定する国の責務を果たすため、国が実施すべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	血液製剤の安全性の向上・安定供給・適正使用の推進を図るための事業の実施は、国民の保健衛生の向上を図るうえで優先度の高い事業と考える。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					△	随意契約もあるが、競争性を確保するため、一般競争入札及び企画競争も利用し支出先を選定している。採血事業者以外では参入が困難であると考えられる事業があるため、公募調達方式による契約も実施する。				
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					有					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	コスト削減に努めており、妥当な水準である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	費用・使途については、必要な経費に限定して支出している。				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					○	国内自給率の低い血漿分画製剤の自給率を上げるための委託事業(特殊製剤国内自給向上対策事業)で、B型肝炎ワクチンが入手困難となる状況が続いたことにより、ワクチン接種者の人数が当初の予定を下回ったため、不用が発生した。					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					-	-					
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					○	血液不足が生じてないことから、成果目標に対する成果実績は見合ったものとなっている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					○	見込みとおりの活動実績である。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					○	「愛の血液助け合い運動」に協力いただく都道府県その他関係機関等に幅広く広報ポスターを配布することにより、国民に周知を図り、夏場に減少しがちな献血量の確保を可能としている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-	-				
	所管府省・部局名		事業番号		事業名		-				
	-		-		-		-				
	-		-		-		-				

点検・改善結果	点検結果	当該事業は、血液製剤の安全性の向上・安定供給・適正使用の推進により、国民の保健衛生の向上を図ることを目的として行っているものであり、事業内容及び支出先について適切であると考えます。また、成果実績である血液確保量は過去3年とも目標量の95%以上を達成しているとともに、活動実績についても毎年7月に実施する「愛の血液助け合い運動」において啓発宣伝用ポスターを3万5千枚以上配布し、積極的に広報を行うことによって、夏場に減少しがちな血液量の確保を可能にしておき、成果実績、活動実績ともに適正であると考えます。
	改善の方向性	現状、目標とすべき血液確保量は国内の献血により確保できているが、今後、少子高齢化に伴って若年層の献血者数も減少していくことが予想される。そのため、将来の献血基盤を支える若年層に献血の意義等を理解してもらい、将来にわたって献血に協力してもらうためにも、ポスターを含め効果的な啓発活動の充実を図っていく必要があると考えます。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

一部の事業内容の改善	過去の執行実績やこれまでの事業の実施状況等を踏まえ、予算額を精査するとともに、より効果的な事業に見直すことなどを検討すること。
------------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

縮減	平成27年度の執行状況を踏まえ、平成29年度の概算要求額を精査し、主に医薬品審査等業務庁費の印刷製本費及び通信運搬費を削減した。
----	--

備考

・平成24年6月21日に開催された厚生労働省行政事業レビュー公開プロセスにおいて「廃止」と判定された「血液製剤対策事業」(事業番号170)について、公開プロセスにおける議論並びに血液法における国の責務を踏まえ、「血液製剤対策推進事業」(事業番号171)とともに事業の見直しを実施。

[コメントの結果]事業の廃止

[とりまとめコメント]

6名全員が見直しが不十分とのご判断。うち3名が「廃止」、2名が「抜本的改善が必要」、1名が「一部改善が必要」とのご判断。

集計結果を踏まえ、とりまとめとしては「廃止」とする。

一方、今日の議論の中でも、事業の必要性や見直しの余地等に関するご意見も頂いた。

血液法に国の責務が規定されていることも踏まえて、大臣始め他の政務とも相談して対応していきたい。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	226	平成23年度	204	平成24年度	171		
平成25年度	新25-13	平成26年度	213	平成27年度	222		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
86.6百万円

血液製剤の安全性の向上及び
安定供給の確保を図るための基
本的な方針等に基づき、国として
必要な措置を講ずる。

【支出委任】

A. 国立感染症研究所
14.0百万円

NATコントロールサーベイ事業
感染症安全対策体制整備事業

【一般競争入札等】

B. 民間企業10社
23.1百万円

献血推進普及に関する
事業

【随意契約(企画競争)】

C. 日本赤十字社
1.7百万円

特殊血液調査事業

【委託】

D. 福岡県他3件
0.8百万円

高校献血教育推進事
業

【随意契約(企画競争)】

E. 日本赤十字社
9.6百万円

特殊製剤国内自給
向上対策事業

【一般競争入札】

F. (株)人材バンク
2.8百万円

フィブリノゲン製剤納
入医療機関調査費

【一般競争入札】

G. 一般社団法人日本輸血・細胞学会
7.5百万円

血液製剤使用実態調査事業

【随意契約(企画競争)】

H. 青森県合同輸血療法委員
会 他9件 6.9百万円

血液製剤適正使用
推進普及事業

【随意契約(企画競争)】

i. WIPジャパン株式会社
9.5百万円

虚偽献血等に対する罰則規
定導入に関する検討等事業

j. 委員等
0.6百万円

委員会出席謝金及び旅費
調査出張における委員旅費

k. 事務費
10.1百万円

職員旅費、備品、消耗品費

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.国立感染症研究所			B.三浦印刷株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	試験検査費	感染症安全対策体制整備事業	11.1	印刷製本費	献血についての副読本 印刷	8.4
	試験検査費	NATコントロールサーベイ事業	2.9			
	計		14	計		8.4
	C.日本赤十字社			D.福岡県		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	試験検査費	特殊血液調査事業	1.7	雑役務費	高校献血教育推進事業	0.5
	計		1.7	計		0.5
	E.日本赤十字社			F.(株)人材バンク		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	特殊製剤国内自給向上対策事業	9.6	雑役務費	フィブリノゲン製剤納入医療機関調査費	2.8
	計		9.6	計		2.8
	G.一般社団法人日本輸血・細胞学会			H.青森県合同輸血療法委員会		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	血液製剤使用実態調査事業	7.5	雑役務費	血液製剤適正使用推進普及事業	0.7
計		7.5	計		0.7	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					<input checked="" type="checkbox"/> チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立感染症研究所	-	感染症安全対策整備事業	11.1	-	-	-	-
2	国立感染症研究所	-	NATコントロールサーベイ事業	2.9	-	-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三浦印刷株式会社	6010601015695	献血についての副読本印刷	8.4	一般競争入札	7	73%	-
2	(株)ジェイプロ	8010801005164	献血についての副読本 梱包発送	3.5	一般競争入札	8	85%	-
3	太陽美術	6010601003790	平成27年血液事業報告 4000部印刷	1	随意契約 (少額)	-	100%	-
4	(株)電通	4010401048922	「愛の血液助け合い運動」ポスター制作業務一式	0.9	随意契約 (少額)	-	100%	-
5	(株)電通	4010401048922	「はたちの献血」キャンペーンポスター原稿作成業務	0.9	随意契約 (少額)	-	100%	-
6	(株)電通	4010401048922	中学生用ポスター原稿作成業務	0.9	随意契約 (少額)	-	100%	-
7	谷町ガラス Hono工房	-	花瓶(大臣感謝状副賞) 314本 製造	0.9	随意契約 (少額)	-	100%	-
8	(株)春日	8150001000530	献血運動推進全国大会 プログラム 2000部印刷	0.8	随意契約 (少額)	-	100%	-
9	東京コロニー	6011205000217	「愛の血液助け合い運動」ポスター印刷	0.6	随意契約 (少額)	-	100%	-
10	株式会社ペア	1012301009957	中学生用ポスター梱包・発送	0.6	随意契約 (少額)	-	100%	-
11	東京コロニー	6011205000217	「はたちの献血」キャンペーンポスター印刷	0.6	随意契約 (少額)	-	100%	-
12	東京コロニー	6011205000217	中学生用ポスター印刷	0.5	随意契約 (少額)	-	100%	-
13	(株)内山回漕店	7010001011328	「愛の血液助け合い運動」ポスター梱包・発送	0.2	随意契約 (少額)	-	100%	-
14	(株)大和総合印刷	6010001021699	第51回献血運動推進全国大会 表彰状 94枚 揮毫	0.2	随意契約 (少額)	-	100%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本赤十字社	6010405002452	特殊血液調査事業	1.7	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福岡県	6000020400009	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.5	-	-	-	-
2	京都府	2000020260002	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.2	-	-	-	-
3	宮城県	8000020040002	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.1	-	-	-	-
4	青森県	2000020020001	献血に関する高等学校関係者向け講習会	0.1	-	-	-	-

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本赤十字社	6010405002452	特殊製剤国内自給向上対策事業	9.6	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)人材バンク	3012401013378	フィブリノゲン製剤等に関する窓口業務	2.8	一般競争入札	3	77%	-

I.WIPジャパン株式会社			J.委員等		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業経費	平成27年度諸外国における献血血液の安全対策等調査業務	9.5	旅費	第17回献血推進運動中央連絡協議会 委員等旅費	0.1
計		9.5	計		0.1
K.事務費			L.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	非常勤職員給与	4			
計		4	計		0
M.			N.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
O.			P.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

別紙3

I

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	WIPジャパン株式会社	2010001113277	平成27年度諸外国における 献血血液の安全対策等 調査業務	9.5	随意契約 (企画競争)	3	100%	-

J

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-
2	個人B	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-
3	個人C	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-
4	個人D	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-
5	個人E	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-
6	個人F	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-
7	個人G	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-
8	個人H	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-
9	個人I	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-
10	個人J	-	第17回献血推進運動中央 連絡協議会 委員等旅費	0.1	-	-	-	-

K

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	非常勤職員A	-	非常勤職員給与	4	-	-	-	-
2	非常勤職員B	-	非常勤職員給与	3.2	-	-	-	-
3	八重洲電気(株)	7010001059391	電話機器等の賃貸借一式	0.3	随意契約 (少額)	-	100%	-
4	タケマエ	3010002049767	鋼製大型回転椅子(OA用 含む)	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-
5	職員A	-	職員旅費	0.1	-	-	-	-
6	職員B	-	職員旅費	0.1	-	-	-	-
7	職員C	-	職員旅費	0.1	-	-	-	-
8	職員D	-	職員旅費	0.1	-	-	-	-
9	職員E	-	職員旅費	0.1	-	-	-	-
10	職員F	-	職員旅費	0.1	-	-	-	-